

運営委員会だより 定方 佐知子

◆内藤先生の話が聞きたくて

近現代史ゼミの受付等を手伝っていた私に「運営委員になって会議に出れば内藤先生の話が月に2回も聞けるよ！」と声をかけていただき、今年度から会議に参加させていただいています。

会議での先生方の話は新鮮で生き活きしていました。本音で語り合う話を伺うのはとてもさわやかな気持ちになれる場でした。このような会議参加の一員にさせていただいたこと、感謝しています。

◆村上先生の思い出

私の教員スタートは高崎でした。高崎六郷小学校。学年主任は村上興順先生。のんびりとした、お年寄り（と思える）の先生でしたが、この先生からたくさんのことを学びました。教研集会、支部教研、群民研、そして数教協の大会も教えていただき、全国教研参加も応援してくださいました。同時に官制の研究会のおかしな面もたくさん教えてくださいました。教師になりたての私には、日々目が覚めていくような時間でした。朝の打合せにのんびりやってくる村上先生に合わせ、その前こと、早口にいろいろ伝える校長先生の言動も印象的でした。

教師スタート時に出会った六郷小での生活と村上先生。私の教員生活 40 数年間、ズーっと支えてくれた出会いでした。

村上先生は現在 97 歳。施設での生活ですが、まだ健在です。先日、友人と訪問した時も、昔の話には目を細めてうれしそうに聞いたり応えたりして下さいました。

◆数教協大会で頭から爆弾！

もう一つ、私の教員生活を支えてくれたのが、初めての数教協大会で出会った徳島の新居信正先生（故人）です。分数の授業に苦戦していた私は、分数の話が聞きたくて参加したのですが、新居先生は分数の教材について語る中で「自分がその教材を楽しんでいると思いますか？自分が楽しいと思わない教材で、なんで子どもに楽しい授業ができる？まず教師が教材にほれていなければダメだ !!」と発言。頭から爆弾を落とされたような気分でした。その後、「教材を好きになる！」「楽しい授業！」はいつも頭の中にあり、教師生活の最後まで、自分の支え、目標となっていました。

◆若い先生に体験してほしい

スタートのころ、このようなすばらしい出会いのあった私の教師生活はラッキーだったと思っています。今の若い先生方は、そのようなすばらしい出会いの機会は少なくなってきているように思えます。でも自分のまわりからみつけ、とびこんでいけば、きっと「目からウロコ」の出会いがたくさんあると思います。例えば、近現代史ゼミでの内藤先生の話。楽しいです！目の前がパッと明るく開けます！このような学ぶ機会をたくさん若い先生方に体験してほしいです。

今後の主な予定

2月 7日（金）13時～	スタジイ楽書会（フォーラム）
2月 11日（火）10時～	ぐんま教育のつどい（高崎経済大学附属高校）
2月 14日（金）14時30分～	原発と自然エネルギー研究部会（フォーラム）
2月 15日（土）11時～	3色パステル画寺子屋（フォーラム）
2月 21日（金）13時～	スタジイ楽書会（フォーラム）
3月 6日（金）13時～	スタジイ楽書会（フォーラム）
3月 13日（金）14時30分～	原発と自然エネルギー研究部会（フォーラム）
3月 14日（土）11時～	3色パステル画寺子屋（フォーラム）
3月 27日（金）13時～	スタジイ楽書会（フォーラム）
3月 28日（土）14時～	近現代史ゼミ（前橋市総合福祉会館）
4月 2日（木）～4月 5日（日）	退職教職員作品展（群馬県生涯学習センター）

育ちと学び No. 43 ぐんま教育文化フォーラム

2020年1月31日 発行

〒371-0026 前橋市大手町 3-1-10 群馬県教育会館 3F

[TEL・FAX] 027-235-8876 [IP 電話] 050-3419-3803

[E-mail] g-kyoken@nifty.com

[URL] <http://gkb-forum.sakura.ne.jp>



スマホからホームページへ👉

